

SD エンターテイメント株式会社

(東京証券取引所 スタンダード市場 証券コード 4650)

2023年3月期第2四半期決算補足説明資料

2022年11月10日(木)

SDエンターテイメント株式会社 代表取締役社長 長谷川 亨



- ▶ 2023年3月期第2四半期 トピック
- ▶ 2023年3月期第2四半期業績
- ▶ 2023年 3 月期 第 2 四半期 事業別概況
- ▶ 2023年3月期第2四半期事業動向
- ▶ 2023年3月期第2四半期今後の展開





〈 ウェルネス事業 - 保育 - 〉

・子育て支援イベントの開催(カメリアキッズ-親子でスキンシップョガ-)/園内運動プログラムの実施(SDグループ保育園)

〈 ウェルネス事業 - フィットネス - 〉

・子どものためのエンタメの学校【スタジオスター大阪天六】9月24日・25日にオープンキャンパスを実施 2022年10月1日オープン

〈 E C 事業 - ノーザンラボ - 〉

・2種類の食物繊維に加え乳酸菌やビタミンを摂取できる「Wファイバー」を販売開始



- ▶ 2023年3月期第2四半期トピック
- ▶ 2023年3月期第2四半期業績
- ▶ 2023年3月期第2四半期事業別概況
- ▶ 2023年3月期第2四半期事業動向
- ▶ 2023年3月期第2四半期今後の展開



(単位:千円)

〔連結損益計算書〕

- 前事業年度に実施した構造改革に伴う「事業の選択と集中」「不採算店舗の整理」により売上高は減少したものの、構造改革と並行して実施したコスト削減等の効果もあり各利益は大幅に改善
- 特別利益・特別損失については転貸物件の契約解消に 伴う資産除去債務戻入益の計上と原状回復費用等の引 当金計上によるもの

	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	増減額
売上高	1,903,388	1,796,100	▲107,288
売上総利益	1,720,418	1,659,532	▲ 60,885
販売費及び一般管理費	1,926,290	1,705,931	▲220,358
営業利益	▲205,871	▲ 46,398	159,472
営業外収益	5,922	3,451	▲ 2,471
営業外費用	46,978	31,674	▲15,213
経常利益	▲246,928	▲ 74,712	172,215
特別利益	19,240	66,949	47,709
特別損失	23,342	177,406	154,064
税金等調整前四半期利益	▲251,029	▲185,169	65,859
 親会社株主に帰属する四半期利益	▲281,315	▲220,581	60,733



〔セグメント別損益〕

(単位:千円)

■ウェルネス事業

保育では第2四半期でも高い園児充足率を維持できており 売上高は順調に推移。

フィットネスでは構造改革による「事業の選択と集中」「不採算店舗の整理」により利益が改善。

■クリエーション事業

オンラインクレーンゲームは2021年8月の拠点統合により売上高は減少したものの、経費の圧縮により利益は改善。

■不動産賃貸事業

前期自社ビル売却の影響により売上高・営業利益ともに 半減

			(丰四・111)
	2022年3月期 第2四半期累計	2023年3月期 第2四半期累計	前期比
売上高			
ウェルネス事業	1,445,762	1,519,628	105.1%
クリエーション事業	119,095	79,140	66.5%
不動産賃貸事業	163,106	84,869	52.0%
その他事業	175,424	112,461	64.1%
営業利益			
ウェルネス事業	▲ 49,329	12,587	_
クリエーション事業	▲ 43,291	▲ 15,184	_
不動産賃貸事業	102,292	52,123	51.0%
その他事業	▲215,543	▲ 76,604	_

※ウェルネス事業のフィットネスに含まれているインターネットカフェは2022年5月をもって撤退しております。

※その他事業は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり主にEC事業やコールセンター事業、カウネット代理店事業となります。



● 21.03期10

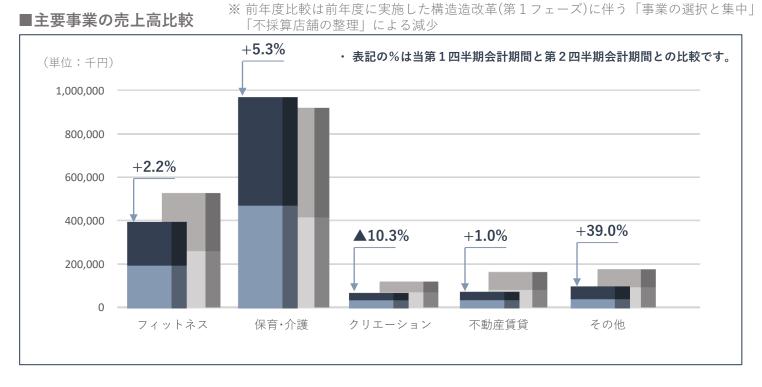
22.03期2Q

23.03期1Q

● 23.03期20

〔セグメント別損益 - 主要事業売上高比較 - 〕

■ 前年比較^{※)}では下回ったものの第2四半期会計期間は第1四半期会計期間と比べ売上高は5.4%UP。新型コロナ第7波の 影響を受けたものの、行動制限がない日常への動きもありフィットネスでは第1四半期会計期間に比べ2.2%増加



	フィットネス	保育・介護	クリエーション	不動産賃貸	その他
第1四半期会計期間	218,294	524,482	41,712	42,221	47,048
第2四半期会期期間	223,209	553,524	37,427	42,648	65,413
増減額	+4 814	+29 060	▲ 4 284	+427	+18 365



〔連結貸借対照表〕

(単位:百万円)

資産の部	2022年3月末	2022年9月末	前期比較	資産の部	2022年3月末	2022年9月末	前期比較
流動資産	1,851	1,545	▲305	流動負債	2,453	2,376	▲ 76
(現金及び預金)	1,463	1,221	▲241	(短期借入等)※	1,589	1,587	_1
(売掛金)	156	144	▲ 11	(その他流動負債)	864	788	▲ 75
(その他流動資産)	231	179	▲ 51	固定負債	1,480	1,267	▲213
固定資産	3,649	3,444	▲204	(社債・長期借入)	1,189	1,069	▲ 119
(有形固定資産)	2,669	2,607	▲62	(その他固定負債)	291	197	▲93
(無形固定資産)	60	41	▲18	負債合計	3,934	3,644	▲290
(投資その他の資産)	919	795	▲123	株主資本	1,558	1,338	▲220
繰延資産	3	2	▲0	純資産合計	1,570	1,348	▲221
資産合計	5,504	4,992	▲ 511	負債・純資産合計	5,504	4,992	▲ 511
				自己資本比率	28.5%	27.0%	_

[※] 短期借入の他、一年内返済予定の社債、一年内返済長期借入を含んでおります。

[※] 百万円未満は切り捨てて表示しております。



- ▶ 2023年3月期第2四半期トピック
- ▶ 2023年3月期第2四半期業績
- ▶ 2023年3月期第2四半期事業別概況
- ▶ 2023年3月期第2四半期事業動向
- ▶ 2023年3月期第2四半期今後の展開

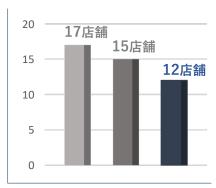
9



〔ウェルネス事業 - フィットネス - 〕

■ 第2四半期会計期間は新型コロナ第7波の影響を受けながらも、前期の構造改革(第1フェーズ)の効果と行動制限がない日常の動きもみられ収益が回復傾向に

■ 店舗数推移 〈同第2四半期比較〉



21.03期 22.03期 23.03期

※ 2022年5月 インターネットカフェ 事業を撤退し、2022年10月より 当社初のキッズスタジオスタート

コロナ以降事業収益の回復を図る ため「業態変更」「事業の選択と 集中」「不採算店舗の整理」を行 い、改善が難しい店舗を閉店

■ 売上高・営業利益推移 〈 同第 2 四半期比較〉 売上高 500,000 400,000 200,000 0

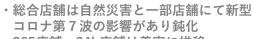


構造改革による「事業の選択と集中」 「不採算店舗の整理」により売上高 は減少しているものの、利益は改善

■ 既存店舗業態別売上高推移 〈同第2四半期比較〉



- ※ 上記の表は、現行既存店舗の業態変更後の 売上高の経過を業態別にまとめ同第2四半 期にて比較しております。
- ※ その他は、インターネットカフェ・ピラティス等となります。



・365店舗、24h店舗は着実に推移

■ 既存店舗業態別会員在籍増減推移 〈同第2四半期比較〉



※ 上記の表は、21.03期2Q時点から 23.03期2Qまでの現行既存店の会 員在籍増減率の推移となります。

21.03期(2020年9月)以降、365・24h店舗へ業態変更した店舗は在会員籍数が増加していたが新型コロナ第7波の影響もあり減少、総合店舗は自然災害等外的要因があり減少

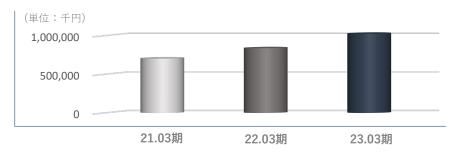


〔ウェルネス事業 - 保育・介護 - 〕

■ 保育は園内外のサービスを充実させ売上高は順調に推移、介護では都内の通所介護所閉所や新型コロナ第7波の影響で一時的な利用自粛があったものの、前期スタートした障がい者サービスの利用者が増えている

〈保育〉

■ 売上高推移〈同第2四半期比較〉

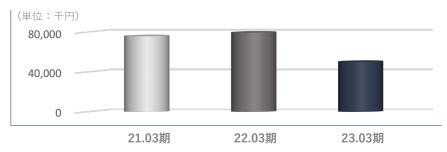




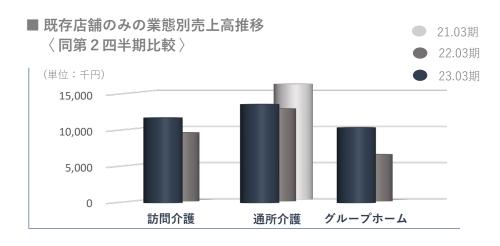
※ 3期連続充足率90%以上を維持

〈介護〉

■ 売上高推移〈同第2四半期比較〉



※ 2022年5月末で通所介護3施設閉所(東京都江東区)

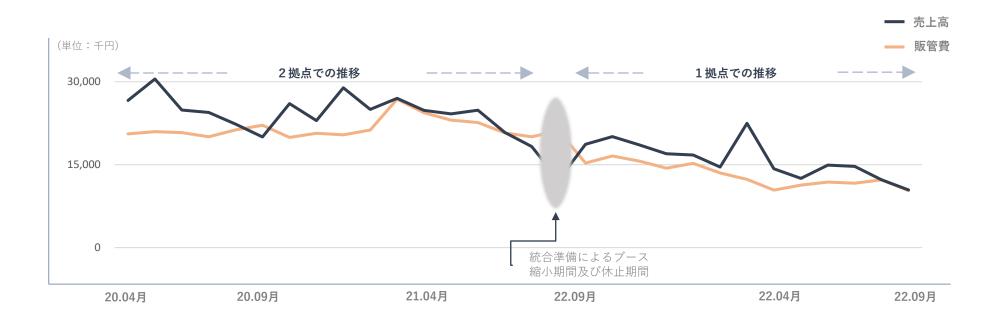


※ 訪問介護は2022年3月開所以降順調に契約数を伸ばしている 通所介護はコロナ禍以前の利用状況に戻りつつある兆し グループホームは2棟目(2022年3月開所)についても徐々に伸びている



〔クリエーション事業 - オンラインクレーンゲーム - 〕

■ 拠点統合(2サイト→1サイト)により売上高は約46.6%減少したものの、販管費等の固定費については約51.3%縮小





- ▶ 2023年3月期第2四半期トピック
- ▶ 2023年3月期第2四半期業績
- ▶ 2023年3月期第2四半期事業別概況
- ▶ 2023年3月期第2四半期事業動向
- ▶ 2023年3月期第2四半期 今後の展開



〔ウェルネス事業 - 保育 - 〕

■ SDグループ各園で独自の園内サービス実施

○ カメリアキッズ (I Tグループ㈱) では「親子でスキンシップョガ」イベントを実施

ふれあい遊びをたくさん取り入れた親子ヨガで一緒に身体を動かすことで 赤ちゃんも心が満たされ2人の絆がさらに深まります。

「産後のケア」「赤ちゃんの体調の把握」「子育てストレス軽減」

※ チューリップ保育園 (㈱フォーユー) でも「親子でスキンシップヨガ」イベントを2022年10月より実施



〇 ディノスキッズ (SDェンターティメント(#) で運動向上にサーキット遊びを プログラムに導入

近年、子どもの体力の低下が見受けられます。SDグループ保育園では幼年期から様々な動作で楽しく身体を動かせるようサーキット遊びをカメリアキッズで取り入れました。ディノスキッズでも2022年8月より実施しております。





〔ウェルネス事業 - フィットネス - 〕

■ 「24時間ジム×インターネットカフェ」を「24時間ジム×キッズスタジオ」に変更し、2022年10月1日オープンキッズスタジオは子どものための"エンタメの学校"として各種レッスンを用意

STUDIO STARとは?

自分の好きなことで活躍したい子どもたちの夢を応援するエンターテイメントの学校です。 全ての子どもたちの可能性を信じて、様々な分野で活躍するプロの講師から学べる機会を提供します。

最前線で活躍するプロ講師陣から学べる



少人数制の初心者クラスが充実

夢に繋がる仕組み

● 店舗概要

店舗名:スタジオスター大阪天六

住所:大阪府大阪市北区国分寺2-1-1 FREEDOM 3F

HP: https://studiostar.jp/ 電話番号: 06-4801-7115

【アクセス】

谷町線・堺筋線「天神橋筋六丁目」駅2番出口すぐ SDフィットネス24大阪天六店





15



〔EC事業〕

■ 当社オリジナルのサプリメント「Wファイバー」のテストマーケティングを実施、WEBの駅「Northern LABO」で販売開始



GLOVY Wファイバー

カラダがよろこぶ食物繊維と乳酸菌が一本に! さらに11種類のビタミン栄養素と7種類のミネラル成分も配合。

飲みやすいレモン風味になっているので毎日続けれます。



水溶性食物繊維・不溶性食物繊維が バランスよく配合されています。 水さえあれば、いつでもどこでも摂 取でき飽きずに飲み続けられるレモ ンフレーバー。

2種類の食物繊維でスッキリ!



FEATURE

商品の特長

11種類のビタミン・ 7種類のミネラルも!

1日に必要な量の1/2のビタミンが配合されています。 健康維持を目指し、7種類のミネラルを配合しています。

18種類の乳酸菌 5 種類の ビフィズス菌!

多様な菌を配合することでそれぞれの腸内環境にアプローチ。 腸内の悩みを解決し、「腸美人」 を目指しましょう!



- ▶ 2023年3月期第2四半期トピック
- ▶ 2023年3月期第2四半期業績
- ▶ 2023年3月期第2四半期事業別概況
- ▶ 2023年3月期第2四半期事業動向
- ▶ 2023年3月期第2四半期 今後の展開

〔ウェルネス事業 - フィットネス - 〕

- SDフィットネス イベント&サービス展開
 - キッズ・パルクールGOGO体験 in 大河原

3歳から小学2年生までを対象に、フランス生まれのニュースポーツ 「パルクール」を体験するイベント

地域の子どもたちへ新しいスポーツを体験する機会を提供

- 「続けられるフィットネス」の各種サービスプランを継続実施
 - 安心トレーニングサポート
 - ・パーソナルトレーニング (マンツーマン)
 - ・ジム・お風呂・ホットヨガ使い放題





〔対処すべき課題〕

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大懸念、ウクライナ情勢の長期化に伴う社会不安や物価上昇等により不透明な状況が続くものと思われます。長期化した新型コロナウイルス感染症による影響は、価値観や消費行動、社会構造にも変化をもたらしており、当社グループにおいては、これらを注視し変化に対応した事業活動をしていく必要があると考えております。

2022年3月期において、当社グループは、事業収益力の回復及び安定的な財務基盤の強化を図るため「有利子負債の大幅削減」、「事業の選択と集中」、「不採算店舗の整理」を柱とする構造改革(第1フェーズ)に取り組んでまいりました。今後は、第2フェーズとして、コアとなるウェルネス事業の成長戦略を推進し事業収益力を伸ばすとともに、『人生に寄り添う』企業として、幼少期・学童期の保育、キッズスクールから、青年期・壮年期以降のフィットネス+ α (美容等)、生活体力維持向上デイサービス、訪問介護サービスを通じて、世代を超えて『健康』で『楽しい』人生のサポートを追求してまいります。

フィットネスでは、従来の"体づくり"や"健康のための運動"だけでなく、「アソビジネス」として、遊びやエンタメ要素を取り入れたアクティビティなど特長のあるサービスやプログラムを充実してまいります。

保育関連においては、「あそび」を通じてココロとカラダの成長を促すプログラムの開発・導入と認可保育事業への参入検討に向け積極的 に取り組んでまいります。

新たな収益源となる事業の開発につきましても、ウェルネス事業と並行して必要な人材や設備の集中的な投資等を検討してまいります。

人材育成

さらに、今後の成長事業拡大や課題の対応に必要となる優秀な人材の確保のため社外からの専門職採用を進めるとともに、社内での人材育成を積極的に推進するため教育体制・給与・評価制度の整備を進めてまいります。

免 責 事 項

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。